

令和7年度

大根灯浮標ほか2基交換工事

仕 様 書

第二管区海上保安本部

第一章 工事概要

1 工事件名

大根灯浮標ほか2基交換工事

2 工事期間

契約締結日から令和8年1月30日

3 工事場所及び 工事内容

工事場所	工事内容
大根灯浮標 (N38-15-56.2 E141-09-51.5)	・標体等の運搬（搬出・搬入） ・交換用標体機器類取付け
ミトノ根灯浮標 (N38-18-43.1 E141-07-02.5)	・既設灯浮標撤去 ・整備済灯浮標設置 ・撤去灯浮標等整備、清掃
歌津埼南方灯浮標 (N38-41-07.5 E141-33-37.3)	・撤去標体機器類取外し ・標体鉄鎖等計測及び点検

4 官給品及び 引渡場所

官給品：別紙5「官給品内訳書」のとおり

引渡場所：

① 宮城海上保安部

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

② 第二管区海上保安本部浮標置場

宮城県塩釜市貞山通一丁目58-3

③ 石巻仮浮標置場

宮城県石巻市雲雀野町二丁目地内

5 管理事務所

宮城海上保安部

宮城県塩釜市貞山通3-4-1 塩釜港湾合同庁舎

TEL022-367-3917

6 発注元

第二管区海上保安本部

宮城県塩釜市貞山通3-4-1 塩釜港湾合同庁舎

TEL022-363-0111（内線2663：交通部整備課）

第二章 共通仕様

- | | |
|---------------|---|
| 1 適用事項 | 本仕様書に記載されていない事項や詳細については、次による最新版とする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書」
国土交通省港湾局編集
「港湾工事共通仕様書」
国土交通省大臣官房技術調査課電気通信室編集
「電気通信設備工事共通仕様書」
海上保安庁交通部整備課制定
「灯浮標等設置工事共通仕様書」
その他、各種取扱説明書 |
| 2 撤去材及び発生材の処理 | 撤去材及び発生材のうち、引継ぎを必要とするものは、整理のうえ「撤去品等発生通知書」を2部提出して確認を受け、監督職員の指示に従うものとする。
引継ぎを必要としないものについては、監督職員の指示による。
1 撤去材の保管及び廃棄は確実に行う。
2 廃棄処分する物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、関連法令に従い適法に処理する。
3 再使用する物については、指定する場所へ遅滞なく届ける。 |
| 3 官給品 | 本工事において、官給品がある場合は監督職員の指示により、現場代理人又は主任技術者は次の処置をとる。
1 官給品の受渡しについては、監督職員の立会いのもと数量等の確認を行い、状態を点検して異常の有無を確認する。
2 官給品の引渡しを受ける際には、現場に立会い、「官給品受領書」を2部提出する。
3 官給品の保管場所・保管方法及び使用状況について指示を受けたときは、指示に従う。
4 官給品の使用が終了した場合は、「官給品精算書」を2部提出して確認を受ける。 |
| 4 工事報告 | 工事の進捗・材料の搬出入・作業員の作業状況・気象状況などを記載した報告書を原則として、監督職員に提出する。 |
| 5 疑義等の協議 | 設計図書に明記のない場合、または、工事内容に疑義を生じた場合及び現場の納まり又は取合いなどの関係で、設計図書によることが困難な場合又は不都合な場合は、監督職員と協議する。 |
| 6 諸届け、打合せ | 受注者は、工事に必要な諸届け、申請を速やかに行う。 |

- | | |
|-------------|--|
| 7 臨機の処置 | 災害または公害が発生した場合は速やかに適切な処置をとり、直ちにその経緯を監督職員に報告する。 |
| 8 工程表・施工計画書 | 着工に先立ち実施工程表及び施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受けること。ただし、軽微な工事で監督職員の指示による場合は省略できるものとする。 |
| 9 工事完成図書 | <p>工事完成後、次の1から6の内容をA4ファイルに整理したもの及び電子媒体（CD-R等）にとりまとめたものを各2部、監督職員に提出する。</p> <p>なお、電子データ提出にあたっては、ウイルス対策を実施したうえで提出するものとする。また、ウイルスソフトは、常に最新データに更新しなければならない。</p> <p>特に工事完成後、外部から確認することができない部分の撮影を忘れぬように十分注意する。</p> <ol style="list-style-type: none">1 工事概要2 完成図書（竣工図は、A3版縮小版とする。電子データ「JW-CAD」含む。）3 工事写真（施工前、施工中、施工後及び完成写真）及び電子データ（JPEG形式）4 試験成績書（材料品質証明、保証書、測定データ等）5 工事結果及び所見6 その他参考資料 |
| 10 施設の保全 | 工事中は、各種機器また既存部分に支障を与えないよう十分な養生を行う。 |
| 11 その他 | <ol style="list-style-type: none">1 工事施工に伴う災害の防止は、関係法令に従い適切に行う。2 工事施工に際しては、施設・機器等に損傷を与えることなく、灯火の保全に細心の注意を払う。
万一、支障を与えた場合には、監督職員に報告するとともに管理事務所に連絡しその指示に従う。3 履行完了後、検査職員による検査を受けること。4 本契約は、検査職員による検査の合格判定をもって履行完了後、請求書により一括で対価の支払いを行う。 |
| 12 工期について | 本工事の履行期限は契約日より令和8年1月30日までとしているが、特定小電力型監視装置の納入予定日が、令和7年10月末となるため、同標識の交換工事は同機器が納入後となる。 |
| 13 使用船舶 | 当該航路標識への通勤等で船舶を使用する場合の手続きは、監督職員と協議する。 |

第三章 特記仕様

1. 設置標体等運搬等

- (1) 引渡場所にて保管中の標体、沈錘、鉄鎖、水中接続具及び頭標等を受注者が手配、使用する岸壁まで陸上運搬する。

なお、運搬に支障となる資材は、標体を岸壁又は作業船等に据え置いてから取付ける。標体を据え置く場合は、転倒防止措置を実施する。

- (2) 官給する鉄鎖及び水中接続具の錆を落とした後、計測及び点検を行い、結果を別紙4様式に記録し、監督職員に報告する。

- (3) 標体運搬に必要な機械、玉掛者等は受注者にて用意する。

2. 機器等取付け

機器は図面及び下記のとおり、堅固に取付ける。

取付け数量等は、別紙1のとおり。

(1) LED 浮標用灯器 (官給品)

- ① 櫓上部の機器取付座に官給品付属の六角ボルト・ナット (SUS304-M16×50) 4組にて水平堅固に取付ける。

- ② ミトノ根灯浮標に取付ける灯器に支給した電流検出ユニットを内蔵すること。

- ③ 各灯器は監督職員より指示した灯質に設定すること。

(2) 灯浮標用ソーラーシステム

- ① 制御装置 (官給品) は、標体内部の機器取付座に調達した六角ボルト・ナット (SUS304-M8×25) 4組にて取付ける。

- ② 端子箱 (官給品) は、櫓表示板の端子箱取付座に調達した六角ボルト・ナット (SUS304-M10×50) 4組にて取付ける。

- ③ 官給品付属の太陽電池架台は、櫓上部の太陽電池取付台に調達した六角ボルト・ナット (SUS304-M10×30) 4組にて取付ける。太陽電池モジュール (官給品) は、太陽電池架台に付属六角ボルト・ナット (SUS304-M6×20) 4組にて取付ける。

- ④ 蓄電池 (官給品) は、標体内部の電池ラックに据え置き、波浪による動揺が無いよう既設の押え板・ゴムパッキン等を使用して確実に固定する。取付前に電圧を確認し、必要であれば補充電をすること。

(3) 監視装置

- ① 官給する特定小電力型監視装置 (KUD-2C) 及び灯火監視装置

(KUD-1C) については、図示のとおり標体へ取付ける。

②再使用する灯火監視送信装置は、撤去標体から取外し、図示のとおり設置標体へ取付ける。

(4) 頭標 (官給品) は、頭標取付金具を頂部の頭標柱に差し込み、官給品付属の六角ナット及び割ピンにて取付ける。

頭標取付金具は、櫓踊場部既設の支柱固定具に3本差込み、官給品付属のナット及び割ピンにて取付ける。

(5) 配線

①各機器の配線は適宜余長をとり、ステンレスバンド、結束バンド等により体裁よく確実に行う。

②各ケーブルの端末は、各機器の端子盤に適合する圧着端子を使用する。

③標体内部、灯器内部への配線は、電線貫通金物 (標体付属) を使用し、適宜防水処置を施す。

④制御装置へのケーブル接続は、温度センサー、蓄電池、太陽電池モジュール、負荷の順とする。なお、取外す際は、この逆順とする。

⑤配線完了後、電圧等のチェックを行い、異常の無いことを確認した後、動作試験を実施する。

3. 既設標体撤去、標体設置

(1) 設置工事の日程を事前に監督職員に通知する。また、設置工事においては、航路標識の運用を休止しないので、監督職員及び管理事務所との連絡は密にしなければならないものとする。

(2) 既設標体又は沈鍾を引き揚げ後、図示の位置に整備済みの標体を設置する。

(3) 設置位置の確認はGPS受信機等により行う。

(4) 上記作業終了後、監督職員立会いのもと設置位置及び機器動作確認を行う。

(5) 設置完了後、水中状況調査 (沈鍾の設置状況、鉄鎖等水中接続具の絡まり等の確認) を行い、設置位置を書面で監督職員に提出する。

4. 監視装置の動作試験

宮城保安部の表示装置にて、各灯浮標に取り付けられた KUD-1C、KUD-2C 及び KFV-1A と通信し、動作確認を行う。

なお、動作確認の内容は次のとおりとする。

- (1) 監視項目（灯火情報（正常点灯・消灯・灯質異常）、標識位置情報）が正常に表示されること
- (2) 表示装置によるリクエスト送信機能の確認

5. 引揚標体等の搬入、整備

引揚標体等を、機器等を撤去した後、浮標置場に搬入し、次のとおり整備する。機器等は管理事務所に返納する。

- (1) 標体、沈錘、鉄鎖、水中接続具及び頭標等に付着した貝類、海草等は腐敗による異臭等を防ぐため速やかに除去し、適法に処理を行う。
- (2) 標体、沈錘、鉄鎖、水中接続具及び頭標等は貝類・海草等を撤去後、浮標置場へ運搬する。
- (3) 鉄鎖及び水中接続具を水洗いして、所定の場所に整列する。
 - ①鉄鎖は、標識名及び規格を記入した標示札（ラミネート等 50×100 程度）を付し、所定の場所に保管する。
 - ②転環は、水洗いし錆打（2 種ケレン）を行い、所定の場所に保管する。
 - ③接環は、分解して水洗いを行い、コッター穴とスプリングに適量の防錆油を塗布して組み立て、所定の場所に保管する。（別紙 2「接環整備仕様書」のとおりに）
- (4) 標体、鉄鎖及び水中接続具の錆を落とした後、計測及び点検を行い、結果を別紙 3、別紙 4 様式に記録し、監督職員に報告する。
- (5) 整備終了後は、浮標置場内の整理整頓等を行う。

第二管区海上保安本部浮標碇置表

No.	標 識 名	灯 質	LED灯器			蓄電池			鉄 鎖			水 中 接 続 具			頭 標			付 属 機 器 類						GPS同期点 減制御装 置		
			Ⅱ 赤	Ⅱ 白	Ⅲ 緑	規格	容量	数量	38φ (連) 3m	38φ (連) 12.5m	38φ (連) 25m	三ツ目環	転環	接環	Rc	Sc		1個	灯浮標用ソーラーシステム			監視 装置 (KFV -1A)	監視 装置 (KUD- 1C)	監視 装置 (KUD -2C)	数量	
																12 t	15 t		円筒 Ⅰ型	円錐 Ⅰ型	円錐 Ⅲ型					PV
1	大根灯浮標	Mo(A)G8s			1 H23.10	MSE	300	6	1	1	1	1	6	1		1				4	1	1		1		
2	ミトノ根灯浮標	Mo(A)R8s	1 H25.8			MSE	150	6	1	1	1	1	7	2		1		1	3	1	1				1	
3	歌津崎南方灯浮標	Q(6)+LF1W15s		1 R3.3		MSE	150	6	1	1	1	1	7		2			1	4	1	1		1			
合計			1	1	1			18	2	1	3	3	3	20	2	1	2	1	1	1	11	3	1	1	1	1

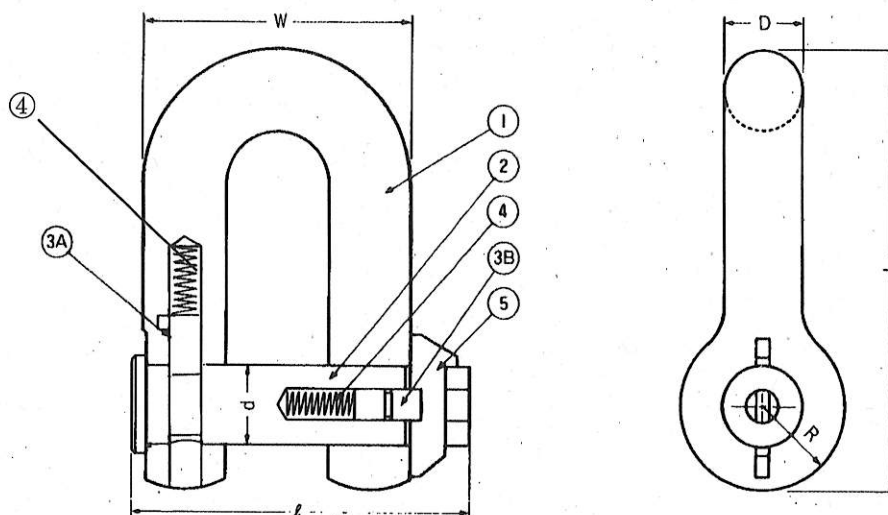
※同期点減制御装置は灯器内蔵型

接環整備仕様書

・海中から引き揚げた接環は下記のとおり整備を行う。

- 1、接環を①接環本体、②シャックルピン、③Aプランジャー、③Bプランジャー、④スプリング、⑤差込みキーに分解する。
- 2、①接環本体及び②シャックルピンは、貝藻類除去・真水による洗浄・発錆部分除去する。
- 3、④スプリングを入れる部分にグリースを充填する。
- 4、接環を組み立てて完了。

【構造及び形状寸法】



【寸法】

呼称径(mm)	本体寸法 (mm)				ピン寸法(mm)		備 考
	D	L	R	W	d	l	
φ38	52	285	55	171	52	211	
φ32	44	240	47	144	44	179	

【材料】

部品番号	部 品 名	材 料	規 格	部品番号	部 品 名	材 料	規 格
1	接 環 本 体	KSBCR 4	JIS F-3303	3B	プランジャーB	SUS 304	JIS G4303
2	シャックルピン	KSBCR 4	JIS F-3303	4	スプリング	SUS 304	JIS G4313
3A	プランジャーA	SUS 304	JIS G4303	5	差 込 キー	SUS 304	JIS G4303

標体検査記録表

別紙 3

管 区 第二管区

標体番号

標 識 名

標体種別

引揚げ時の
点検年月日

区分	調査項目	調査内容	調査結果	
			喫水下部	喫水上部
標体	塗膜残存率	80%以上	☐	☐
		50%以上	☐	☐
		30%以上	☐	☐
		ほとんど無し	☐	☐
	電気防食板 残存率	50%以上	☐	☐
		25%以上	☐	☐
		5%以上	☐	☐
		5%未満	☐	☐
	発錆	ほとんど無い	☐	☐
		あるが機能に問題無い	☐	☐
		標体寿命に影響がある	☐	☐
		標体寿命に著しく影響がある	☐	☐
	孔食	ほとんど無い	☐	☐
		あるが機能に問題無い	☐	☐
		多数あり標体に著しく影響がある	☐	☐
		大きな孔食が有り浸水等のおそれがある	☐	☐
その他参考事項	別紙3-1			

標 体 衰 耗 調 査 表

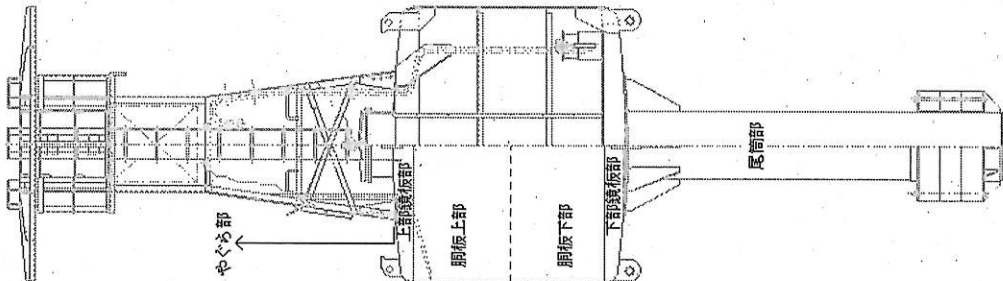
計測年月日 0

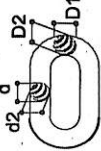
標体番号 0

計測箇所	初期値	板厚計測値					目視点検状況等
		1	2	3	4	5	
やぐら部							
上部鏡板部							
胴板上部							
胴板下部							
下部鏡板部							
尾筒部							

製造年月

標体調査箇所略図





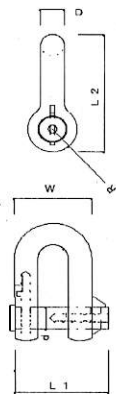
引揚げ 設置

第二管区海上保安本部
確認者:

エンドリンク
D1= 45.6 D2= 45.6 d1= 45.6 d2= 45.6
コモンリンク
D1= 38.0 D2= 42.5 d1= 38.0 d2= 38.0

No	規格	目視	外観点検	計測データ		計測者	備考	記録
				計測箇所	エンドリンク			
1	38mm × 25m			D1				
				D2				
				摩耗率				
				摩耗率				
				d1				
3	38mm × 12.5m			D1				
				D2				
				摩耗率				
				摩耗率				
				d1				
4	38mm × 3.0m			D1				
				D2				
				摩耗率				
				摩耗率				
				d1				

※ 目視による外観点検で摩耗・変形等が殆どない鉄鎖は5m単位のリングをゲージにより計測する。
※ 摩耗・変形等の大きいリングがある鉄鎖は、その箇所をノギスにより計測する。



D=	W=	L1=	L2=	d=
52	171	211	285	52

No	規格	外観点検				計測データ						記録事項	
		本体	接環 ピン	差し込み フランジヤ スフリング	その他	ゲージ	ノギス						
							計測箇所	計測値	繰返率	計測箇所	計測値		
1	38mm					D			L1			計測年月日	
						W			L2			計測者	
						d					引掛標識名		
											備考	水深約 m	
2	38mm					D			L1			計測年月日	
						W			L2			計測者	
						d					引掛標識名		
											備考		
3	38mm					D			L1			計測年月日	
						W			L2			計測者	
						d					引掛標識名		
											備考		
4	38mm					D			L1			計測年月日	
						W			L2			計測者	
						d					引掛標識名		
											備考		
5	38mm					D			L1			計測年月日	
						W			L2			計測者	
						d					引掛標識名		
											備考		
6	38mm					D			L1			計測年月日	
						W			L2			計測者	
						d					引掛標識名		
											備考		
7	38mm					D			L1			計測年月日	
						W			L2			計測者	
						d					引掛標識名		
											備考		

[illegible]

※ 摩擦・変形等の大きいリングは、その箇所をノキスにより計測する。
計測はエンドリングは全て、コモンリングは3m毎に行つこと

官 給 品 内 訳 書

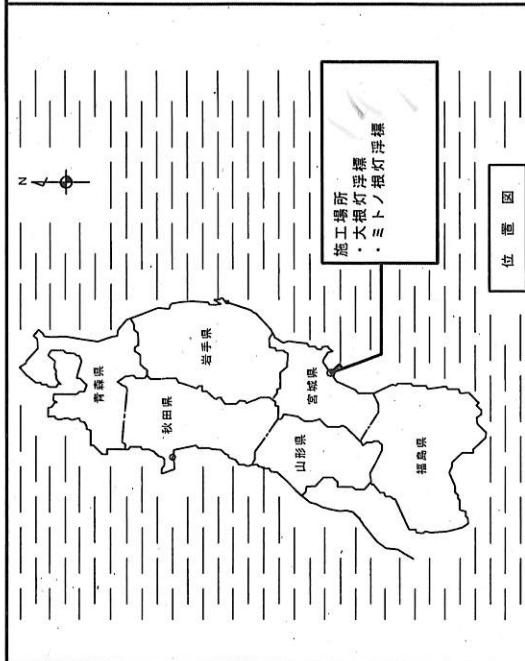
(大根灯浮標ほか2基交換工事)

品 名	規 格	単 位	数 量	官 給 場 所
標体	L-1	基	1	石巻仮浮標置場
標体	L-2	基	2	第二管区海上保安本部 浮標置場
LED浮標灯器	Ⅲ型緑	個	1	宮城海上保安部
LED浮標灯器	Ⅱ型赤	個	1	宮城海上保安部
LED浮標灯器	Ⅱ型白	個	1	宮城海上保安部
太陽電池モジュール	20W	面	11	第二管区海上保安本部 浮標置場
灯浮標用ソーラーシステム制御器	標準型	個	3	第二管区海上保安本部 浮標置場
灯浮標用ソーラーシステム端子箱	12V3A	個	3	第二管区海上保安本部 浮標置場
蓄電池	MSE-150 (長寿命型)	個	12	第二管区海上保安本部 浮標置場
蓄電池	MSE-300 (長寿命型)	個	6	第二管区海上保安本部 浮標置場
灯火監視装置	KUD-1C	式	1	宮城海上保安部
特定小電力型監視装置	KUD-2C	式	1	宮城海上保安部
鉄鎖	38mm×25m	連	3	第二管区海上保安本部 浮標置場
鉄鎖	38mm×12.5m	連	1	第二管区海上保安本部 浮標置場

官 給 品 内 訳 書

(大根灯浮標ほか2基交換工事)

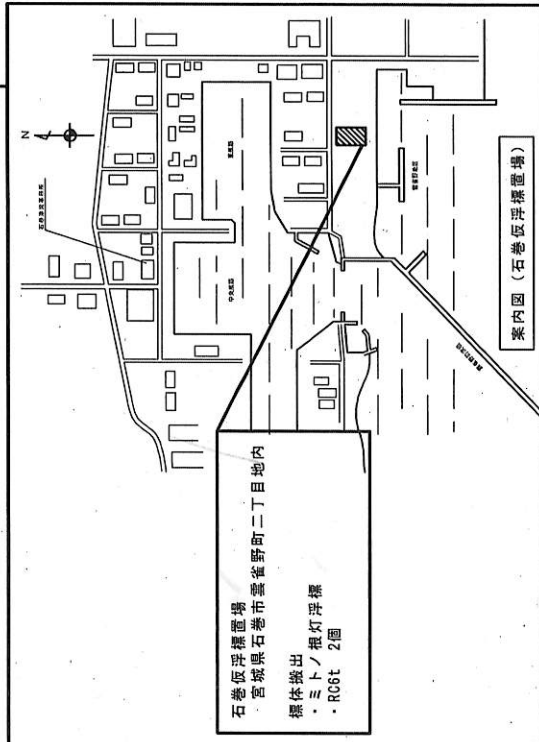
品 名	規 格	単 位	数 量	官 給 場 所
鉄鎖	38mm×3m	連	2	第二管区海上保安本部 浮標置場
水中接続具	三ツ目環 32mm	個	3	第二管区海上保安本部 浮標置場
水中接続具	転環 38mm	個	3	第二管区海上保安本部 浮標置場
水中接続具	接環 38mm	個	20	第二管区海上保安本部 浮標置場
沈錘	SC 15t	個	2	第二管区海上保安本部 浮標置場
沈錘	SC 12t	個	1	第二管区海上保安本部 浮標置場
沈錘	RC 6t	個	2	石巻仮浮標置場
頭標	円筒Ⅰ型	個	1	第二管区海上保安本部 浮標置場
頭標	円錐Ⅰ型	個	1	第二管区海上保安本部 浮標置場
頭標	円錐Ⅲ型	個	1	第二管区海上保安本部 浮標置場



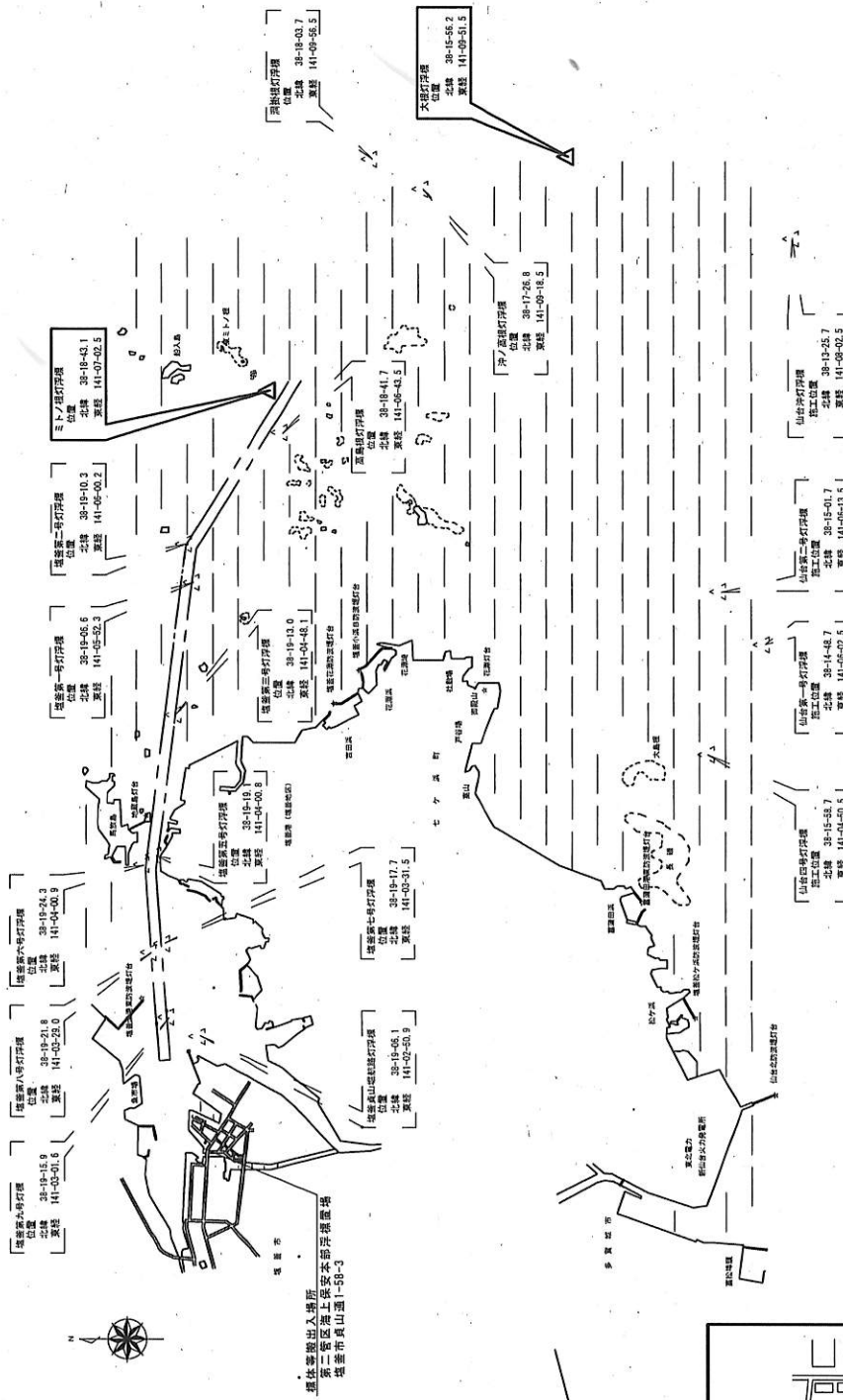
位置図



案内図（第二管区海上保安本部浮標置場）



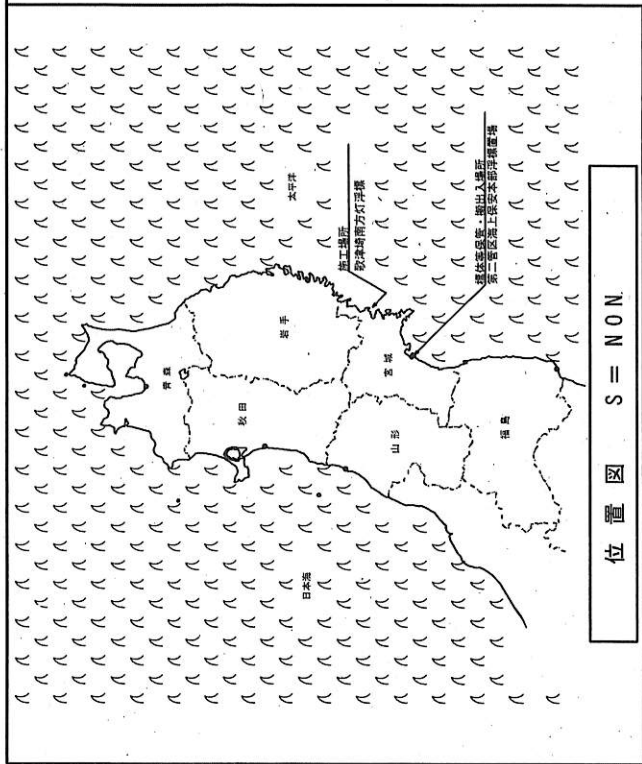
案内図（石巻港湾構置場）



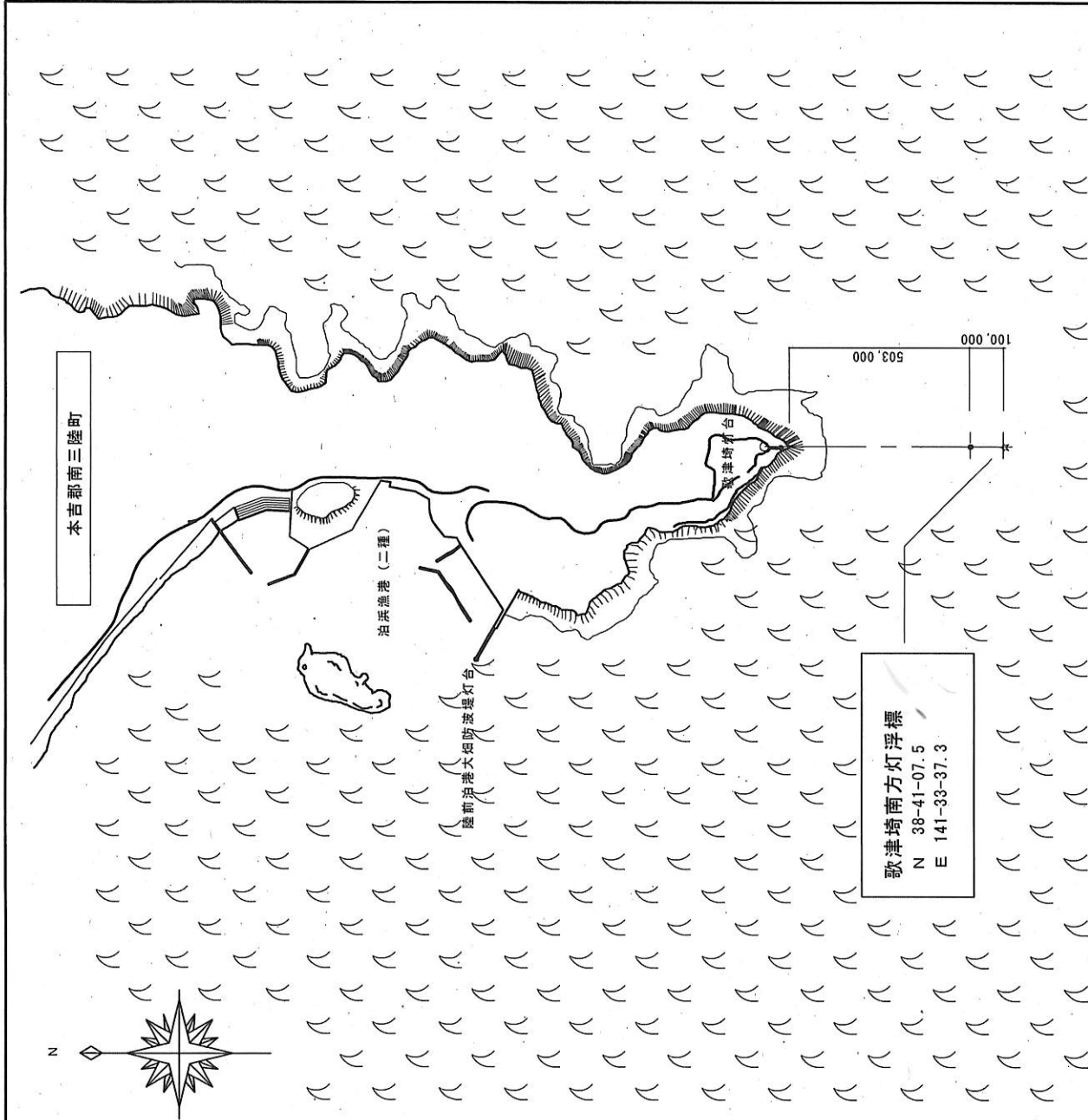
案内図（仙台塩釜港） S=1/35000

※灯浮標の位置は世界測地系とする。

工事件名	大相灯浮標ほか2基交換工事	令和7年度
箇所名	共通	図番 1/8
図面名称	位置図、案内図	図面 図紙 A2版
作成	第二管区海上保安本部 交通部	年月 年 月 日 7



位置図 S = NON



付近案内図 S=1/10,000

工事件名	令和7年度
大根灯浮標ほか2基交換工事	
箇所名	図番 2/8
歌津埼南方灯浮標	
図面名称	縮尺 原図
位置図、付近案内図	表示 2/8
第二管区海上保安本部 交通部	電山 R7.7

改修後

改修前



● 下に示す図の下に並べた表の題意を要す。

- ①制御装置の電源SWをOFFにする
- ②負荷を撤去する
- ③ファンを停止する
- ④電池を撤去する
- ⑤温度センサーを撤去する



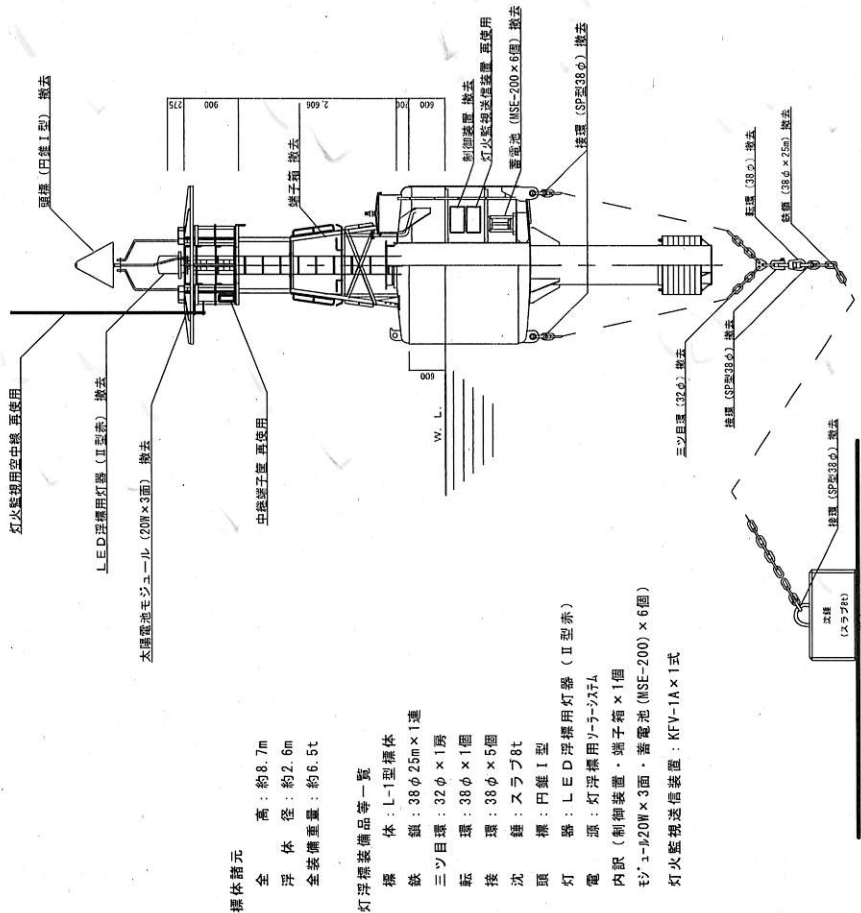
※ 置換経路なく接続の下では順序の下に行う。

- ①制御装置の電源SWをOFFにする
- ②温度センサーを接続する
- ③蓄電池を接続する
- ④モジュールを接続する
- ⑤負荷を接続する
- ⑥制御装置の電源SWをONにする

[illegible]

改修前

改修後



標体諸元

全 高：約8.7m
浮 体 径：約2.6m
全 装 備 重 量：約6.5t

灯浮標装備品等一覧

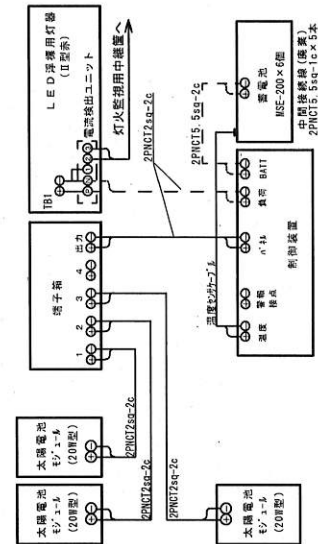
標 体：L-1型標体
鉄 鎖：38φ25m、3m×1連
三ツ目環：32φ×1個
鉄 環：38φ×1個
接 環：38φ×5個
沈 没 鐘：スラブ8t
頭 機：円錐I型
灯 器：LED浮標用灯器 (II型赤)
電 源：灯浮標用V-5-27A
内 訳 (制御装置・端子箱×1個
モジュール200×3面・蓄電池 (MSE-200) ×6個)
灯火監視送信装置：KFV-1A×1式

撤去標体姿図 S=1/60

※制御装置への接続は以下の順序で行う。

- ①制御装置の電源SをOFFにする
- ②負荷を撤去する
- ③モジュールを撤去する
- ④蓄電池を撤去する
- ⑤温度ワイヤを撤去する

——：設置箇所
— — —：撤去箇所



標体諸元

全 高：約8.7m
浮 体 径：約2.6m
全 装 備 重 量：約6.5t

灯浮標装備品等一覧

標 体：L-1型標体
鉄 鎖：38φ25m、3m×1連
三ツ目環：32φ×1個
鉄 環：38φ×7個
接 環：38φ×2個
沈 没 鐘：RC6t×2
頭 機：円錐I型
灯 器：LED浮標用灯器 (II型赤)
電 源：灯浮標用V-5-27A
内 訳 (制御装置・端子箱×1個
モジュール200×3面・蓄電池 (MSE-150) ×6個)
灯火監視送信装置：KFV-1A×1式

※設置前に鉄鎖、接環、鉄環、三ツ目環を計測する。

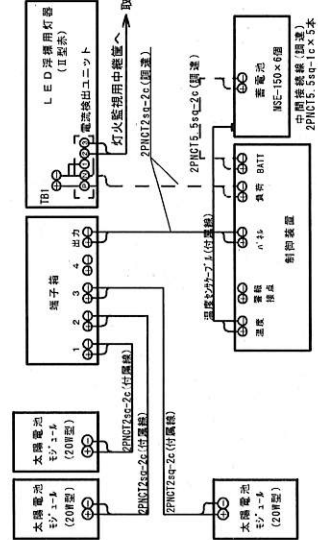
※設置前に鉄鎖、接環、鉄環、三ツ目環を計測する。

設置標体姿図 S=1/60

※制御装置への接続は以下の順序で行う。

- ①制御装置の電源SをOFFにする
- ②温度ワイヤを接続する
- ③蓄電池を接続する
- ④モジュールを接続する
- ⑤負荷を接続する
- ⑥制御装置の電源SをONにする

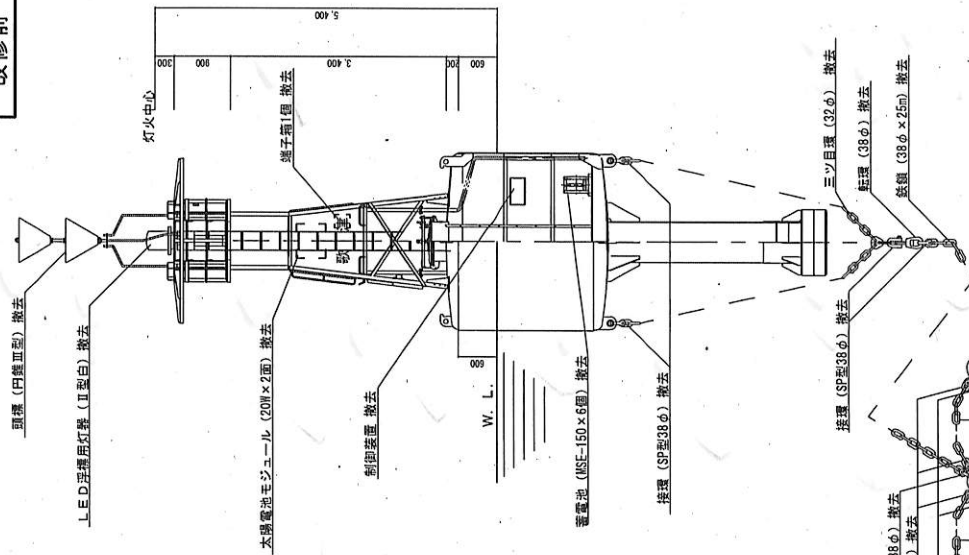
——：設置箇所
— — —：撤去箇所



工事内容	大根灯浮標ほか2基交換工事	令和7年度
箇所名	ミトノ灯浮標	図番 4/8
図番名称	中機端子置 (廃棄)	図尺 1/20
図番名称	灯浮標 (設置・撤去)・制御装置系統図 (取付・撤去)	図尺 1/20
図番名称	第二管区海上保安本部 交通部	年月 日 月 日

改修前

改修後



標體諸元

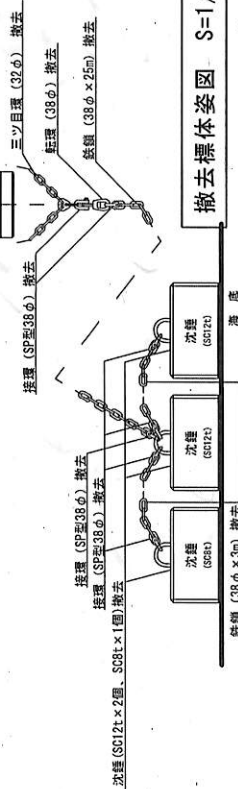
全高	: 約10.45m
坪徑	: 約2.8m
全裝構重量	: 約8.1t

紙一掛品應來應往

標	体：L-2型摆体
鉄	径：38φ25m×1通
	38φ3m×2通(沈通接続)
三ツ目環	径：32φ×1房
転	環：32φ×9個
接	環：38φ×9個
沈	径：SC12t×2個、SC8t×1個
頭	標：円盤Ⅱ型
灯	源：LED浮標用灯具(Ⅱ型)
	源：灯浮標用ソーラー☆74
内訳	制鋼装置・端子箱
	☆1-A20W×2個、蓄電池(MSE-150)

機器取付等について

配線については、別図のとおりとする。
設置前に鉄鎖、接環、転環、三ツ目環を計測する。



撤去標体姿図 S=1/60

う。行では買の下には出さなく置て買取

- ①制御装置の電源SWをOFFにする
- ②負荷を撤去する
- ③パネルを撤去する
- ④バッテリーを撤去する

— 分 類 號 —

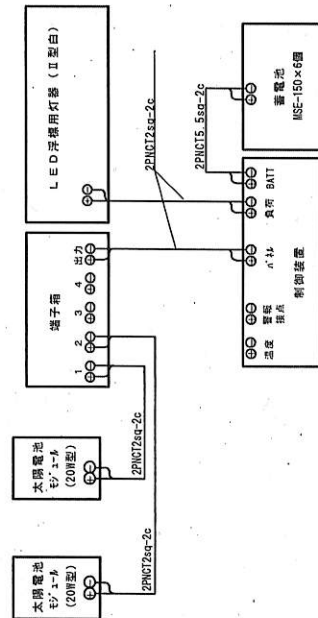
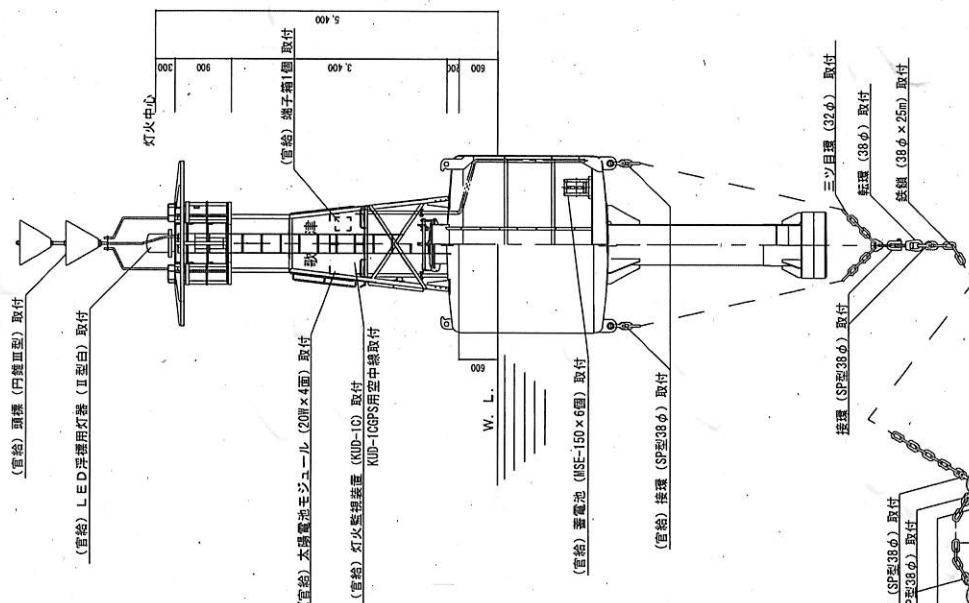


圖 取付機器配線系統



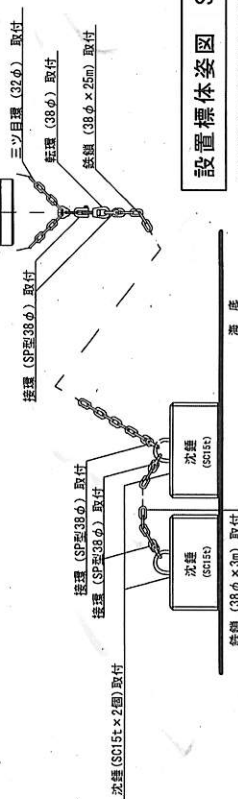
標本諸元	全高：約10.45m
浮体	直径：約2.8m
全装備重量	：約8.1t

紙一掛唱響聲聲

燈	體	35φ×25m×1重	35φ×3m×1重(次燈接線)
三	目	環：32φ×1層	環：38φ×1層
接	環	環：38φ×7個	環：38φ×7個
次	燈	燈：S015t×2個	燈：S015t×2個
頭	樣	樣：円盤型	樣：円盤型
電	器	器：LED点検用灯器(Ⅱ型白)	器：LED点検用灯器(Ⅱ型白)
内	取	取：灯吊機用フック	取：灯吊機用フック
材	質	質：鋼管、鋼子箱	質：鋼管、鋼子箱
灯	火	火：240W×4個・普通電	火：240W×4個・普通電
火	災	災：警報機(UC-1C)	災：警報機(UC-1C)

機器取付等について

配線については、別図のとおりとする。
設置前に鉄鎖、接環、転環、三ツ目環を計測する。

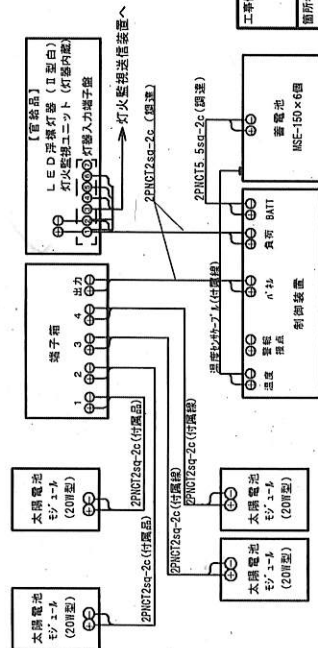


設置標体姿図 S=1/60

※制御装置への接続は以下の順序で行う。

- ①制御装置の電源SWをOFFにする
- ②バッテリーを接続する
- ③パネルを接続する
- ④負荷を接続する
- ⑤制御装置の電源SWをONにする

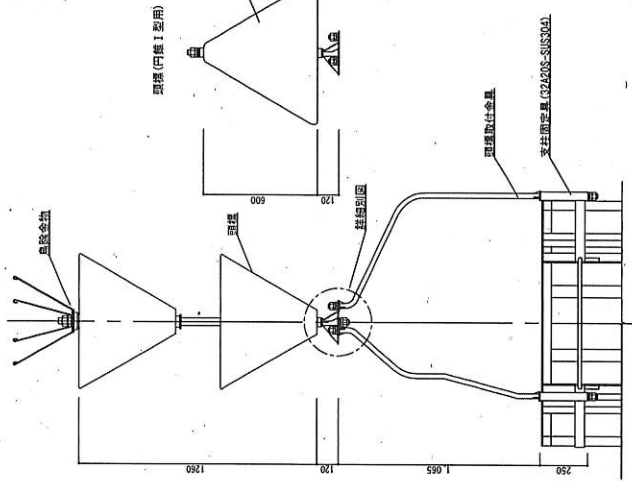
※取付配線については別図参照



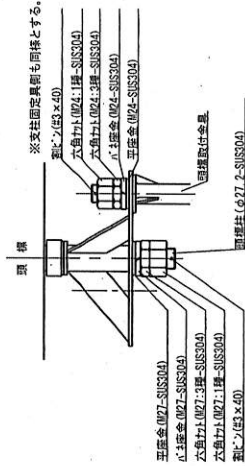
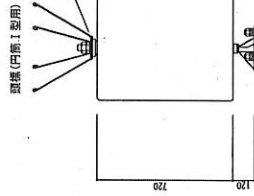
取付機器配線系統図

	第二管区連上保文本部 文書部	図書室 (図書、撤去)、聴覚障害系図書 (寄付・贈与)	図書部	令和 7 年度	工務科 姓名
					大根灯 坪 照 ほ か 2 基 交 換 工 事
図書室	取津城南南方坪探検	図書部	令和 7 年度	工務科 姓名	

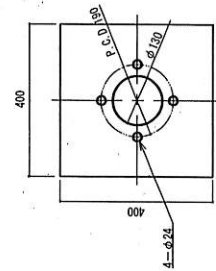
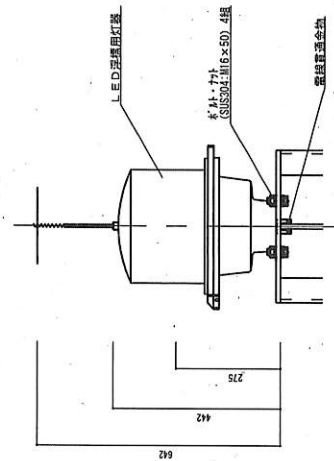
図様 (円筒型型用)



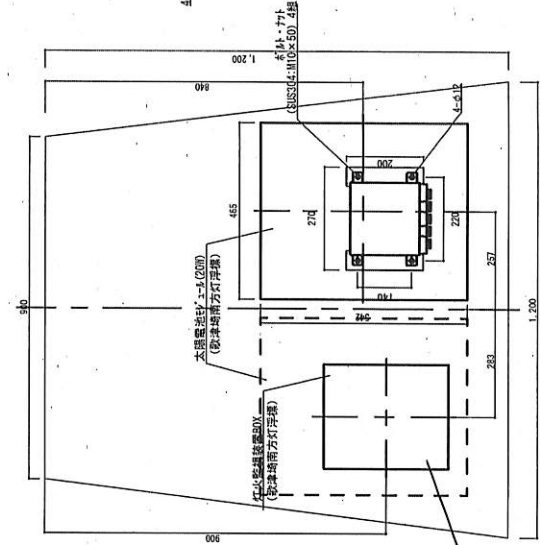
図様・取付金具取付図 S-1:20



図様・取付金具取付図 S-1:5

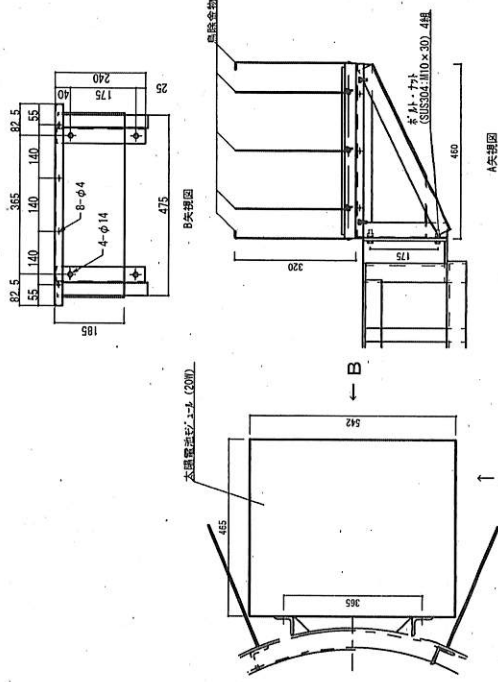


LED浮橋用灯器取付図 S-1:10

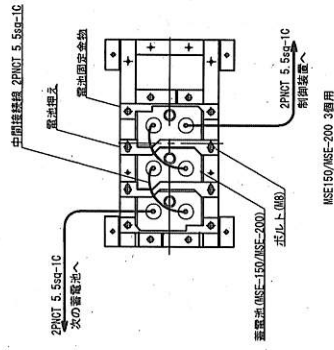


図様・取付金具取付図 S-1:10

※図中参考寸法：UPC338186 347



図様・取付金具取付図 S-1:10



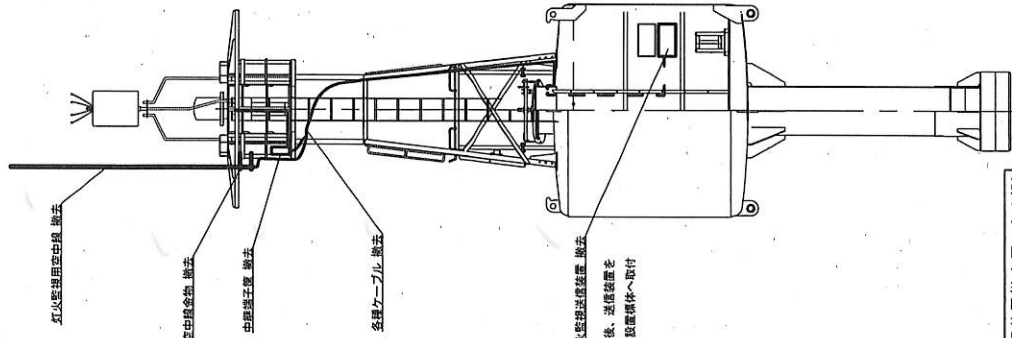
図様・取付金具取付図 S-1:10

1. 電池を電池ボックスに収め、適合する位置に電池ボックス・電池固定金具・ホルダーを固定する。
2. 電池ボックスがたつてくようであれば、電池ボックスを間に入れ、動かないように固定する。
3. 電池ボックスを接続させる際には必ず、圧着端子に通電の負荷がかからないように注意し、絶縁テープ等で通電箇所を保護する。

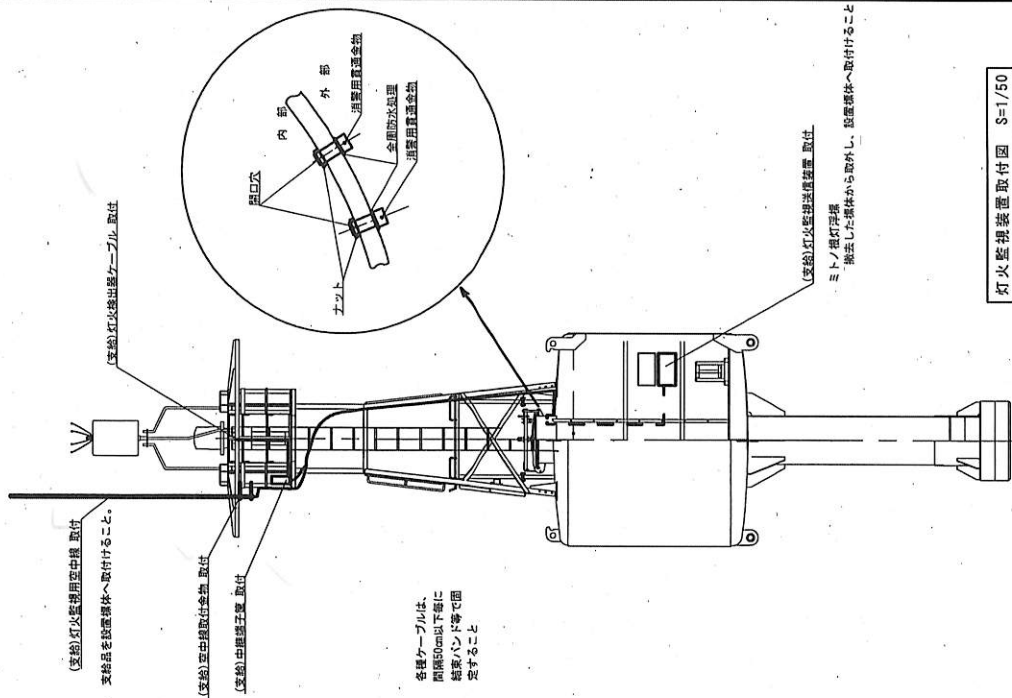
工事内容	大根灯浮橋ほか2基交換工事	令和7年度
箇所名	共通	図番 6/8
図面名称	各種詳細図	図尺 1/20
作成	第二管区海上保安本部 交通部	年月 日
確認	第二管区海上保安本部 交通部	年月 日

撤去品については、管理事務所保管とする

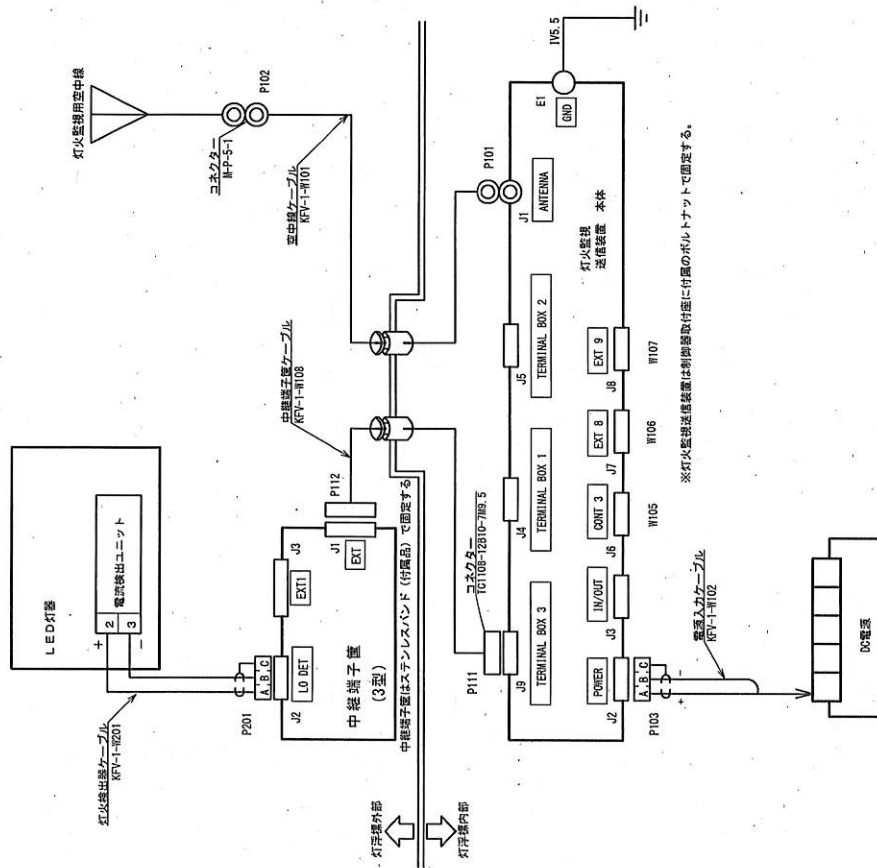
撤去 取付



灯火監視装置撤去図 S=1/50



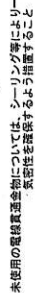
灯火監視装置取付図 S=1/50



配線系統図

品 目	対象機種	ミトノ燈灯浮標
空中線	60-2W101	KFY-1A (0.1W)
空中線取付金物	60-2W101用	1 本 支給品
空中線ケーブル	KFY-1-W101	1 式 支給品
中継端子筐 3	ボースバンド付	1 個 支給品
中継端子筐ケーブル	KFY-1-W108	1 本 支給品
灯火検出器ケーブル	KFY-1-W201	1 本 支給品
電源入力ケーブル	KFY-1-W102	1 本 支給品
各コネクタ	キャップ付	1 式 支給品
送信装置	0.1W用	1 式 支給品

工事件名	令和7年度
大根灯浮標設置ほか2基交換工事	
箇所名	図番 7/8
ミトノ燈灯浮標	
図面名称	消防用設備等
灯火監視設置機・取付図、配線系統図	
設計	原田 大輔
監修	山本 隆夫
承認	亀山 隆夫

[illegible]